

===== P S マガジン（製品安全情報メールマガジン） =====

製品安全についての情報をお届けします。（第2・4火曜日発行）

N I T E (ナイト)[独立行政法人製品評価技術基盤機構]

製品安全センター



=====

食欲の秋が到来です。近年は、時間効率を重視するタイムパフォーマンス（タイパ）志向の高まりを受けて、手軽な調理家電を用いてできるだけ手間をかけない「ずぼら調理」が人気です。しかしながら、その中には取扱説明書及び商品パッケージに記載されている注意事項（以下「注意事項」という。）をよく確認せずに誤った使い方をして事故に至ったケースがあります。今回は「調理家電の事故」を防ぐためのポイントをご紹介します。

=====

### 項目一覧

- =====
1. 調理家電の事故
  2. 製品事故収集情報（9月8日～9月21日 受付97件）
  3. リコール情報 4件
  4. その他の製品安全情報
    - ・大阪府消費者フェア2024
    - ・2024年度JACセミナー参加者募集のお知らせ
    - ・製品リスクアセスメント支援ツール「SAFE-Pro」のご案内
    - ・製品事故情報、リコール情報検索ツール「NITE SAFE-Lite」のご案内
    - ・消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について
    - ・Instagramアカウントのご案内
- =====

### 1. 調理家電の事故

=====

2019年から2023年にNITEに通知のあった製品事故情報※1では、調理家電の事故は合計494件ありました。そのうち事故原因が判明した226件の中では、使用者の誤使用・

不注意が関係しているものが44%（99件）を占め、最も多くなっています。

『できるだけ手間をかけたくない。』『ちょっと温めるくらいなら大丈夫。』といったずぼらな気持ちから、注意事項を確認せずに誤った使用方法をしてしまうと大きな事故につながるおそれがあります。

調理工程を省いても、安全のための手間だけは省かないようにお願いします。



電子レンジで、カップ麺を容器ごと温める



IHこんろで、規定より少ない油で揚げ物をする

再現イメージ（※実際の事故とは関係ありません）

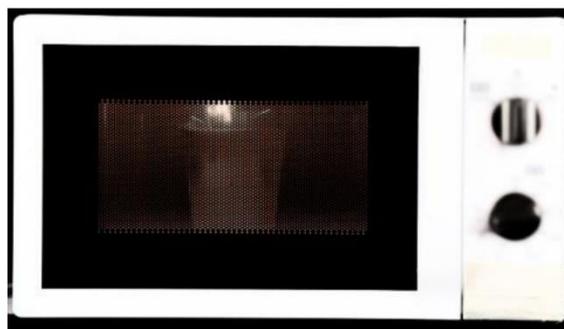
※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

#### 【事件事例】

##### ■電子レンジ（禁止されている容器を加熱した事故）

カップ麺を容器ごと電子レンジで加熱したところ、容器が爆発し、電子レンジが破損しました。（引用元：消費者庁事故情報データベース）

→電磁波がカップ麺容器のフタ裏側に貼られたアルミ素材が電子の動きを活発化させたことで、電界集中によるスパーク（火花が発生）をしたものと推定されます。



カップ麺容器から火花が出ている様子  
（再現実験）

##### ■電子レンジ（禁止されている食品を加熱した事故）

電子レンジを使用中、庫内で調理物が破裂し、庫内の底面が割れました。

→取扱説明書で禁止されている「ゆで卵」の入っている「おでん」を加熱したため、ゆで卵が破裂した衝撃により、庫内底のガラスプレートが破損しました。



▲ 電子レンジで加熱したゆで卵の破裂の様子  
(再現実験)

#### ■IH こんろ（少量の油から発火した事故）

IH こんろで調理中の鍋から出火し、周辺を焼損しました。  
→調理中その場を離れ、更に少量の油を入れて、揚げ物モード（油が発火点に達しないように油の温度を一定に保つ機能）を使用しなかったため、発火したと推定されます。



▲ フライパンの少量の油から発火する様子  
(再現実験)

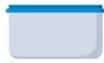
#### 【調理家電の事故を防ぐために気を付けるポイント】

○調理前に、取扱説明書及び商品パッケージに記載されている注意事項を確認する。

##### ・禁止されている容器を加熱しない。

調理家電に容器を入れて加熱する際、種類や材質によっては取扱説明書に禁止されているものがあります。例えば、「電子レンジに金属製の容器やアルミホイルを使用してしまうと金属部分から火花が発生して発火するおそれがある」ので、使用が禁止されています。ただし、オーブン機能付き電子レンジの場合、「加熱モードによっては金属製品やアルミホイルの使用が可能になる」など、調理方法に応じて注意事項が変わる場合もあります。

また、取扱説明書に記載が無くても商品パッケージに注意事項が記載されている場合もあるので、調理家電側・商品側両方の注意事項をよく確認することが大切です。

容器の種類	金属容器 	アルミホイル 	耐熱性のある プラスチック容器 	ラップ (耐熱温度140℃以上) 
レンジ加熱	✗ 使えません スパークが生じるため 使用できません。	✗ 使えません 放電・火花・加熱・やけ などの原因になります。	○ 使えます	○ 使えます
ヒーター加熱 (オープン調理)	○ 使えます	○ 使えます	✗ 使えません 変形したり、焦げたり します。	✗ 使えません 溶けたり、発火したり します。

▲調理家電側の注意事項

オープン機能付き電子レンジの取扱説明書の注意事項の例  
電子レンジで使用できない金属製のもの（例）



▲商品側の注意事項

カップ麺の商品パッケージに記載されている注意事項の例

・禁止されている食品を加熱しない。

電子レンジで卵を加熱すると破裂する事は広く知られていますが、「ゆで卵が入ったおでん」などの煮込み料理でも同様に破裂するおそれがあり、注意が必要です。レンジ加熱はマイクロ波と呼ばれる電磁波で食材内部の水分を温めるしくみです。卵や切り込みを入れていない栗など、膜や殻に覆われている食材を電子レンジで加熱すると、食材内部の水分が膨張して圧力が高まり、破裂しやすくなります。

⊘ 生卵やゆで卵、目玉焼きは加熱しない

❗ 殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる

▲ 電子レンジの取扱説明書に記載されている注意事項の例



▲ 電子レンジに卵を入れた様子



▲ 切り込みを入れた栗

・揚げ物調理をする際は、取扱説明書に定められている油の量を守る。

IH こんろは火を使わずに調理できる上に安全機能が充実しているため、火災の心配がないように思われがちですが、取扱説明書に定められている油量よりも少ない油で揚げ物調理をすると、温度が急激に上昇し、温度センサーが正確な温度を測ることができなくなり、発火するおそれがあります。また、揚げ物調理にもかかわらず通常の加熱メニューを選択したり、反りや変形がある鍋を使用したりすることによっても、温度センサーが正しく働かなくなる原因となります。

安全機能を過信せず、取扱説明書に記載されている注意事項をよく確認しましょう。

### ○調理中は、その場を離れない。加熱しすぎない。

食品の様子を見ながら少しずつ加熱することで、事故を防ぐことができます。短い時間でも調理中は機器本体から離れないようにし、やむを得ず離れる場合は調理を中断しましょう。電子レンジの場合、水分が少ない食品（パンや芋など）は水分を多く含む食品よりも比較的早く炭化し、スパーク（火花が発生）して発火します。特に油分を多く含む食品（天ぷら、肉まんなど）は、加熱し過ぎた際に爆発的に燃焼するおそれがあるため、注意が必要です。



▲調理中は、その場を離れない。  
加熱しすぎない。

### ○調理後は、こまめに掃除する。

調理家電はこまめに掃除を行ってください。特に電子レンジとオーブントースターで汚れによる事故が目立っています。電子レンジは庫内やドアの内側に食品かすなどの汚れが付着した状態で使用すると、炭化してスパーク（火花が発生）し、発火するおそれがあります。オーブントースターは庫内や受け皿に食品かすや油分などの汚れがある状態で使用すると、ヒーターの熱で食品かすや油分などが予期せぬ過加熱となり、発煙や発火のおそれがあります。



▲調理後は、こまめに掃除する。

■NITE では 2024 年 9 月 26 日に注意喚起として『“ずぼら調理”が招く危険 ～トリセツをよく読んで「調理家電の事故」を防ぎましょう～』をプレスリリースしました。

リコール後のリコール製品による重大製品事故の詳しい分析結果は、こちらの方に載せておりますのでぜひご覧ください。

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2024fy/prs240926.html>

■新作映像資料

- ・電子レンジ「11.カップ麺容器の発火」  
<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/kaden/2024092602.html>
- ・電子レンジ「12.ペットボトルの破裂」  
<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/kaden/2024092601.html>
- ・IH調理器「4.少ない油で発火」  
<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/kaden/2024092603.html>

=====

## 2. 製品事故収集情報

=====

◆◆◇ 消費生活用製品の事故情報収集状況 ◇◆◆  
(9月8日～9月21日 受付97件)

NITEに通知のあった事故情報から、件数の多い製品を掲載します。

=====

製品名	(事故状況と件数)
1. 自転車、電動アシスト自転車含む	(製品破損等 9件)
2. 照明器具	(火災等 8件)
3. リチウムイオン電池内蔵機器	(火災等 6件)
4. ガス給湯器、風呂がま含む	(製品破損等 6件)
5. 洗面化粧台	(製品破損等 4件)
6. エアコン	(火災等 4件)

=====

自転車は製品破損起因の転倒事故5件と、電動アシスト自転車の電池火災事故4件になります。洗面化粧台は全て同一メーカーのリコール事案(キャビネット落下)になります。

◇最新事故情報 (これまでの受付情報もご確認いただけます)

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/information/index.html>

■事故情報の提供をお願いいたします。

事故の再発防止のため、有効に活用させていただきます。

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/shushu/index.html>

=====

## 3. リコール情報

=====

◆株式会社エアージェイ (法人番号: 6012401013516)

「リチウム電池内蔵充電器」 2024/09/24 (HP)

【詳細】 <https://air-j.co.jp/news/3767.html>

◆富士電機株式会社（法人番号：9020001071492）

「パワーコンディショナ（太陽光発電システム用）」 2024/09/26（HP）

【詳細】 [https://www.fujielectric.co.jp/contact/products/pvn\\_550.html](https://www.fujielectric.co.jp/contact/products/pvn_550.html)

◆株式会社バンダイ（法人番号：5010501016209）

「玩具」 2024/10/2（HP）

【詳細】 <https://www.bandai.co.jp/info/important2024t1.pdf>

◆カワサキモーターズ株式会社（法人番号：7140001120470）

「電動アシスト三輪自転車」 2024/10/3（HP）

【詳細】 <https://www.global-kawasaki-motors.com/recall/ot2410a/index.html>

---

---

#### 4. その他の製品安全情報

---

---

#### ◆◆◇ 大阪府消費者フェア 2024 ◇◆◆

NITE は、近畿経済産業局 製品安全室と連携して「大阪府消費者フェア 2024」に出展します。「家の中のきけん」をテーマに、事故再現動画の上映や製品安全に関するポスター掲示をします。ぜひお越しください。

##### 【会場開催】

日程：令和6年10月26日（土）11:00～15:00

場所：大阪府咲洲庁舎 1F フェスパ（ニュートラム「トレードセンター前」駅下車  
ATCビル直結）

##### 【ウェブ開催】

日程：令和6年10月18日（金）14:00 から11月11日（月）10:00 まで

フェアに関する詳細情報及びウェブ開催については、下記ウェブサイトをご覧ください。

大阪府消費者フェア 2024 イベントページ（外部サイトにジャンプします。）

URL：<http://www.kanshokyo.jp/web/kouza/2024c/fair.html>

---

◆◆◇ 2024 年度 JAC セミナー参加者募集のお知らせ ◇◆◆

日本認定機関協議会 (JAC) は国内 5 つの認定機関の集まりで、NITE 認定センターも参加しています。JAC では、日本認定機関協議会 (JAC) では、認定に関する広報活動の一環として、例年セミナーを開催しております。今年の「世界認定推進の日」(World Accreditation Day) のテーマ、「認定：明日を導き、未来を形づくる」に沿った講演を予定しております。G-Plus 食品、サイバーセキュリティ、AI マネジメントシステムに関する規格動向や適合性評価に興味のある方、必見です。

【詳細】 <https://www.nite.go.jp/iajapan/jac/information/2024seminar.html>

【日時】 2024 年 10 月 25 日 (金) 13:00~16:30

【実施形態】 オンラインによるライブ配信 (Webex ウェビナーを使用予定)

【定員】 400 名程度

【受講料】 無料

【対象者】 標準化・適合性評価制度の最新動向について関心のある方

特に、「G-Plus 食品」「サイバーセキュリティ」「AI マネジメントシステム」に興味のある方

---

◆◆◇ 製品リスクアセスメント支援ツール「SAFE-Pro」のご案内 ◇◆◆  
(電気温風機、電気ストーブ (カーボンヒーター) の事故データ 475 件追加)

NITE では、主に製造事業者やその関係者の皆様に対して SAFE-Pro というサービスを提供しております。SAFE-Pro は、製品のリスクアセスメントに有効な信頼性解析手法である FMEA・FTA の考え方を利用して、NITE が保有する製品事故情報を事故発生シナリオとして参照・検索できる無料のツールです。製造事業者やその関係者の皆様が安全性の高い製品を製造・提供するために実施するリスクアセスメントに活用できます。

この度、SAFE-Pro に電気温風機、電気ストーブ (カーボンヒーター) の事故データ 475 件を追加しました。今回の追加により、SAFE-Pro の提供データは、29 製品、4678 件になりました。対象製品やデータの更新履歴は、SAFE-Pro の Web ページでご確認ください。

なお、SAFE-Pro をご利用になられていない方は、この機会に SAFE-Pro の Web ページからご利用申請いただくと幸いです。Web ページ内には、プロモーション動画や「SAFE-Pro を活用した事業連携、推薦者の声」、ご利用事業者様一覧、FAQ ページなども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

【SAFE-Pro】

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-pro.html>

【SAFE-Pro 使い方のコツ動画 再生リスト】

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLWxWKUOj3xAJSez4brZi75Tvng7uBe6FA>

製造事業者やその関係者の皆様が SAFE-Pro を活用し、安全な製品が市場に流通することで、皆様の安全で豊かな暮らしが創出されることを期待しております。

---

◆◆◇ 「NITE SAFE-Lite」のご案内 ◇◆◆

NITE は、より安心・安全な社会になることを目指して、製品安全に関する情報を発信しており、NITE のウェブサイトで、製品事故の調査結果、リコール情報や誤使用に関する注意喚起などを提供しています。その中で、製品事故情報をどなたでも簡単にウェブ検索できるシステムとして、「NITE SAFE-Lite」というサービスを提供しています。

「NITE SAFE-Lite」は、サービス開始以来、多くの方にご活用いただいています。スマートフォンの小さな画面とタッチ操作に配慮したシンプルな操作性で、6 万件にも及ぶ製品事故情報を専門用語（例えば「異音」）でなく普段お使いの言葉（例えば「ガラガラ」）で検索できます。

「NITE SAFE-Lite」で製品事故を検索すると、同じ現象の事故だけではなく、よく似た事故情報も表示されます。これにより、様々な視点から事故となる危険性やその場合の被害状況などが「見える化」され、事故の未然防止につながります。

令和 6 年 4 月 1 日、「SAFE-Lite」は「事故情報検索データベース」と「リコールデータベース」を統合し、「NITE SAFE-Lite」となりました。

【NITE SAFE-Lite】

<https://safe-lite.nite.go.jp/>

---

◆◆◇ 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について ◇◆◆

消費者庁

消費者庁は、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表しています。

9/25 17 件

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer\\_safety\\_cms202\\_240925\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_240925_01.pdf)

9/27 11件

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer\\_safety\\_cms202\\_240927\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_240927_01.pdf)

10/1 10件

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer\\_safety\\_cms202\\_241001\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_241001_01.pdf)

10/4 20件

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer\\_safety\\_cms202\\_241004\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_241004_01.pdf)

◆◆◇ Instagram アカウントのご案内 ◇◆◆

NITE では、公式アカウントを開設しています。

インスタグラムでも、シーズンに合わせて、皆様の生活の安全を守るためにどんどん発信していきますので、フォローやいいねをお待ちしております！

Instagram アカウント→@nite\_japan

編集後記

夏に騒がれたおこめ不足もやっと新米が手に入るようになりましたね。10月8日は「焼きおにぎり」の記念日だそうです。ふと、コンビニのおにぎりに醤油をつけて焼けば～簡単に自分でも作れそう～ですが、くれぐれも「ずぼら調理」には皆様ご注意を。食欲の秋をご満喫ください。

P S マガジン配信先の紹介等 P S マガジンの普及にご協力をお願い致します。また、社内報や広報誌、回覧板などへの掲載も歓迎致します。

P S マガジンに関するお問い合わせ、「その他の製品安全情報」欄へ掲載のご希望などがありましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。(ps●nite.go.jp) (●を@に変えて送信してください)

配信登録や解除、配信メールアドレスの変更は、下記HPからお願い致します。(P S マガジンのバックナンバーも掲載しています)

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/mailmagazin/index.html>

---

【編集・発行】 独立行政法人 製品評価技術基盤機構  
製品安全センター 製品安全広報課  
(法人番号 9011005001123)

<https://www.nite.go.jp/jiko/index.html>